

SKIPシティ
国際Dシネマ映画祭2023
国内コンペティション
正式出品

魔法の万華鏡 を笑ったその日まで

ひとりぼっちの女の子が出会ったのは、ひとりぼっちの私でした。

渡邊心結 角心菜

丸本凜 成宮しずく 佐藤ひなた

夏目志乃 片岡富枝

鳥谷宏之 土屋いくみ 若林秀敏 松澤可苑

荒澤智也 宮原惻々帆 根本拓洋 川隅奈保子 木田友和

脚本・監督 武田かりん

主題歌：RCサクセッション「君が僕を知ってる」

作詞・作曲 忌野清志郎

(Licensed by USM JAPAN, A UNIVERSAL MUSIC COMPANY)

撮影：上野陸生 照明：稲葉俊充 美術：野中茂樹 ヘアメイク：吉田冬樹 スチール：佐伯洋志 監督助手：細沼孝之 助監督：平岡凌 制作：田丸さくら

音楽：山城ショウゴ 宣伝：倉田雄一朗/工藤憂哉 プロデューサー：田口敬太 協力プロデューサー：田中佐知彦 製作：映日果人/武田かりん/kotofilm

配給：映日果人 配給協力：SPOTTED PRODUCTIONS (2022/日本/99min/シネマスコープ/カラー/DCP)

魔法の万華鏡で繋がる二人だけの青春ファンタジー物語

監督自身の中学時代の記憶をモチーフにした
すべてのひとりぼっちへ届ける
“青春ファンタジー”映画の誕生！

ひとりぼっちの女の子同士が出会い、初めての友だちと過ごす、
“夢のような夏休み”。

しかし、そんな楽しかった夏休みも終わりに差し掛かる。8月31日、
新学期が憂鬱な彼女たちは、ある行動を起こすのだった——

本作は、自身のコンプレックスであった中学時代の記憶をモチーフに
学校という小さな世界で感じる孤独へ向けて、監督自身が夢を叶える
映画だ。武田かりん監督は、本作が初長編作品ながら「SKIPシティ国際Dシネマ映画祭2023国内コンペティション長編部門」にノミネート
されるなど今後の活躍が期待されている。主人公のアンを演じるのは渡邊
心結、もう一人の主人公のアイナを演じるのは角心菜。本作が映画初主演となる
フレッシュな二人が鮮やかに演じている。また、主題歌のRCサクセ
ションの名曲『君が僕を知ってる』が、二人の苦しみに優しく寄り添う。
「映画というタイムマシーンに乗って、あの頃の私と君の元へ届けたい」
そんな切実な想いが詰まった“夏休み青春ファンタジー映画”が誕生した。

STORY

安藤 絢子(アン)は学校には馴染めない、ひとり
ぼっちの中学生。薄暗い立ち入り禁止の階段が
唯一の居場所だった。そんなある日、不思議な
商店で魔法の万華鏡をもらう。それを覗くと立入
禁止の扉が開きその先の屋上には同じ万華鏡を
持った生徒、アイナがいた。二人はすぐに仲良
くなり夢のような夏休みを送るのだが、屋上には
「昔飛び降り自殺した生徒の幽霊が出る」と
いう噂があった。その幽霊がアイナなのではな
いかと疑念を抱きながらもお互いにとってかけ
がえのない存在になっていくのだが…

「いつかタイムマシーンが発明されたら、
大人になった私はきっと、今の私を助けにきてくれる」

渡邊心結

角心菜

武田かりん

RCサクセション

第1回スターオーディション
グランプリ

ミスセブンティーン2021
ファイナリスト

SKIPシティ国際Dシネマ映画祭
カナザワ映画祭期待の新人監督2020
ノミネート

主題歌
「君が僕を知ってる」
作詞・作曲 忌野清志郎

逃げよう。ここではないどこかへ——



渡邊心結 角心菜 丸本凜 成宮しずく 佐藤ひなた 夏目志乃 片岡富枝
鳥谷宏之 土屋いくみ 若林秀敬 松澤可苑 荒澤智也 宮原剛々帆 根本拓洋 川隔奈保子 木田友和
脚本・監督・編集：武田かりん
撮影：上野陸生 照明：稲葉俊充 美術：野中茂樹 ヘアメイク：吉田冬樹 スチール：佐伯洋志 監督助手：細沼孝之 助監督：平岡凌
制作：田丸さくら 音楽：山城ショウゴ 宣伝：倉田雄一朗/工藤夏哉 プロデューサー：田口敬太 協力プロデューサー：田中佐知彦
製作：映日果人/武田かりん/kotofilm サポーター：株式会社MagniFIKA/松本悠/渡邊城大/麻莉奈/やまたつの/上野浩弥/大久保孝一
ころびこ/武田大輝/ふじのこーせい/三枝初枝/鈴木芳明 /李之助 配給：映日果人 配給協力：SPOTTED PRODUCTIONS
協力：埼玉県/SKIPシティ 彩の国ビジュアルプラザ
主題歌：RCサクセション「君が僕を知ってる」作詞・作曲 忌野清志郎 (Licensed by USM JAPAN, A UNIVERSAL MUSIC COMPANY)
(2022/日本/99min/シネマスコープ/カラー/DCP)

公式サイト

公式SNS



@bluewo2022

7.27(土)より夢のような夏休みが始まる

当日一般1,800円/会員1,500円/大専・シニア1,200円/高校生以下800円

横浜 R16長者町5丁目交差点沿
シネマリン

045-341-3180
www.cinamarine.co.jp

